

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
32	ヤマザキ動物看護大学	高齢動物看護学	富田 幸子 動物看護学部 教授	2	前期	火	15	13:10～14:40	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

本科目は前半で高齢動物看護学、後半に動物自然療法論を含む講座である。動物医療の進展やヒトと動物の暮らしの変化等に伴い犬猫の寿命が飛躍的に長く延び、様々な問題が生じている。高齢動物の病態生理を理解説明でき、その後の健康管理や治療補助および高齢動物の生活の質（quality of life, QOL）の維持および向上を目指す予防看護の方法の説明に加えて、高齢動物の飼い主教育をすることができるようになることを目標とする。自然療法論では、現代西洋医学の看護知識を基本にして、化学療法では補助できない疾患動物の自然治癒力を理解し、からだの中と外の両面から捉える東洋医学を理解実践できるようになることを目標とする。

【授業の概要】

高齢動物の理解とその周囲をとりまく状況について解説し、高齢に伴う各臓器別の変化と正確な知識、それに対応する必要な看護について講義する。さらに、QOLの維持管理に必要な知識と死と向き合うグリーフケアについて講義する。自然療法論は実際に経験のある教員による講義で、東洋医学の考え方や応用を展開講義し、動物看護師の技術の拡大を目指す。

【授業内容】

1. ヒト超高齢化の研究状況と高齢動物をめぐる状況
2. 高齢動物と循環器・呼吸器疾患の看護
3. 高齢動物と消化器・内分泌疾患の看護
4. 高齢動物と口腔疾患の看護
5. 高齢動物と認知障害の看護
6. 高齢動物と腫瘍・泌尿器疾患の看護
7. 高齢動物と感染症対策
8. 高齢動物と眼科疾患の看護
9. 高齢動物と皮膚疾患の看護
10. 高齢動物における疾患予防とグリーフケア
11. 高齢動物と術後管理・リハビリテーション（ゲストスピーカー）
12. 自然療法・補完・代替療法と現代西洋医学の比較（ゲストスピーカー）
13. 高齢動物と中医療（漢方・生薬・鍼灸療法など）の基礎知識（動物看護への応用を含む）（ゲスト）
14. 高齢動物とストレスとリラクゼーション・デトックスプログラム・マイクロバブルの効能（ゲスト）
15. 高齢動物とアロマテラピー/バッチフラワーバジレメデー/ハーバルメディスンの効能（ゲスト）

【成績評価方法】

授業への参加態度、レポート提出及び小テスト 30%、定期試験 70%から総合的に評価する。

【教科書】

特になし。講義内容に合った資料を配布する

【参考書、教材等】

- 1) 犬と猫におけるリハビリテーション、支持療法および緩和療法（監修 長谷川篤彦、学窓社 2012）。
- 2) 高齢動物の医学（監訳 長谷川篤彦、インターズー 2013）。
- 3) 疾患別 動物看護学ハンドブック（緑書房 2012）。
- 4) ペットの自然療法辞典（監訳 山根義久、ガイアブックス 2008）。
- 5) ペットホリスティック・ケア-ペットの心と体を癒やす- 高橋美知代 著、ペットライフ 2008）。
- 6) ペットのための鍼灸マッサージマニュアル（石野孝 著、医道の日本社 2012）

※ この授業は、4/11（火）が初回です。